

ノミ、ダニの薬について

頸筋にたらすスポットオンと、食べさせるものと2種類があります。

以下の理由から、当院ではスポットオンをお勧めします。

① 食べさせる薬の長所

食べてから3時間くらいで効果が表れます。

雨に濡れたり、毎日のようにシャンプーをしたり、川、海で泳いでも効果は変わりません。嗜好性があるので、おやつ感覚で喜んで食べる場合が多いです。

食べさせる薬の短所

血中濃度が一時的に高くなるので、嘔吐するときがあります。

薬は体内の脂肪組織に蓄えられ、一定の濃度を保つように血液中に徐々に分泌されます。

薬は肝臓や腎臓で代謝されて、体外に排泄されますので、肝臓や腎臓に負担をかけます。

血中の薬をノミ、ダニが体内に取り入れるためには、一回吸血する必要があります。

ノミ、ダニを殺すには、必ず吸血されないといけないので、犬猫はその都度痒い思いをします。

ノミ、ダニがいない状態で散歩に行っても、ノミ、ダニを貰ってくると、その付いた数だけ、吸血されます。100匹いれば、殺すためには100回吸血されるのです。

ダニに吸血された場合でも、24時間以内に殺せば、ダニが媒介する伝染病はうつらないといわれています。

② スポットオンの長所

薬は皮脂腺に蓄えられ、皮膚に徐々に分泌されます。

ノミ、ダニが皮膚や体毛にいと、薬に接触することで、死んでいきます。

吸血されて、痒い思いをすることはありません。

体内に吸収されにくいので、肝臓や腎臓に負担をかけにくいです。

薬を付けた部位を舐めたり、換気の悪い場所で長時間いたりしない限り、嘔吐することはありません。

スポットオンの短所

効果がでるのに、24時間かかります。

毎月定期的に付けていると、効果は途切れませんし、ダニに吸血されたとしても、24時間以内なら、ダニが媒介する伝染病はうつらないといわれています。

付けた後24時間は、効果が低下しますから、濡らせてはいけません。

シャンプーは週一回までです。

付けた部位が、一過性に、赤くなったり、痒がったりすることがあります。

ミミヒゼンダニ、ノミ、フィラリア、猫回虫（猫用）の駆除ができるスポットオンがあります。

この薬は、他社のスポットオンと違って頸筋に滴下すると速やかに皮膚から吸収されます。

ノミの大部分は薬剤との接触ではなく、血液中の薬剤の吸血によって退治されます。

体内に吸収された薬は、犬フィラリア、猫回虫を殺します。

肝臓、腎臓で代謝されていきますが、1か月間効果は持続します。

ミミヒゼンダニは外耳道の表皮に寄生していて、激しい痒みを伴います。

多頭飼育していると、次々に感染していきます。

治療は、一度に全頭しないと完治しにくいです。

ミミヒゼンダニに感染していないなら、マダニに効果のある薬を選択してください。

マダニは家の庭にでも生息しますから。

感染する可能性は、ミミヒゼンダニよりマダニの方が大きいですし、マダニの吸血による発病は死の危険性があります。

ミミヒゼンダニ、(疥癬も?)に感染しているなら、この薬が最適です。

完治したら、肝臓、腎臓への負担を出来るだけ避けるため、他の皮膚から吸収されにくいスポットオンにかえてください。

③ どちらも一長一短です。

犬、猫の生活習慣やお住まいの環境で選ぶ薬は違います。

当院では、痒い思いをしてもらいたくないのと、肝臓、腎臓に出来るだけ負担をかけたくないので、皮膚から吸収されにくいタイプのスポットオンをお勧めします。